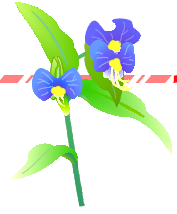


「思いを伝えることの難しさ」

6月10日



～思いを伝える難しさについて考えてみよう～

【教材あらすじ】

若者を中心に幅広い世代にわたって浸透しつつある断定を避けた「ぼかし言葉」。“微妙” “私的にはそう思います” “とてもよかったかな、みたいな・・・”などのぼかし言葉がいずれも10年前と比べて、使う人が増加傾向にあることが文化庁の調査結果に。この結果などをもとに、伝え方、相互理解について考える。

○今までの体験や今日の学習を振り返って

- ・ぼかし言葉も大切だなと思いました。自分が思っていることをすべて口に出してはいけないなと思いました。
- ・ぼかし言葉を使ってもいいけど、ちゃんと伝えなければいけないときは、自分の考えを伝えることが大切だなと思いました。
- ・自分が思ったことをストレートに言うのもいいけど、場合によっては言いにくいときもあるので、その時はぼかし言葉を使ってもいいのではないかなと思う。
- ・ぼかし言葉を使ってもうまく流すこともできるけど、逆にはっきり言わないといけない時もあるから、その時で変えればいいと思いました。
- ・私は自分の思いを伝えるのが苦手だけど、あいまいに答えるよりかは、自分の思いを素直に言うことが大切だと思った。答え方で人を傷つけてしまうこともあるので、そこは気を付けないといけないと思った。
- ・う～ん、やっぱり相手に気持ちを伝えるのは難しい！ということが改めてよくわかりました。
- ・思いを伝えるって、結構難しいもんだなと思った。隠すことが多いなと思った。
- ・相手の気持ちも考えつつ、自分の意見も言うのは、やっぱり難しいなと思いました。
- ・何気なくぼかし言葉を使っていることが多かった。場面によっては正しく使い分けないと相手を傷つけたりお互いに気まづくなったりするから気を付けたいと思った。
- ・今までは、みんなに合わせていたけど、勇気をふりしぼって言ってみようと思いました。
- ・あんまり思ったことを言わないので、積極的に言いたい。
- ・相手の気持ちも考えて言わないといけないということが改めて分かった。日常で使っている言葉もあったので、考えて言わないと、相手も反応に困るんだなと思った。
- ・話は聞いてあげるけど、違うと思ったらちゃんと言う。相手も自分も大切にする。